

第六次総合計画 施策評価シート(令和元年度)

3-④

施策
ごみのない美しく快適な生活環境の確保を図る

担当部局
環境リサイクル局, 企画財政局, 文化産業局, 建設局



【豊か】 めざまちの姿 ごみがポイ捨てされておらず、まちがきれいである

市の基本方針

- 広報やパンフレットによる地域住民や事業者への啓発活動・指導を通じ、地域環境美化意識の向上を図ります。
- 全市一斉ごみ0(ゼロ)キャンペーンなど、市民や市民公益活動団体、事業者による自主的な地域の環境美化活動を支援します。
- 不法投棄監視員によるパトロール活動や監視活動を強化し、不法投棄の未然防止や早期発見により不法投棄のないきれいなまちをめざします。

数値目標

まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
自分の住むまちがきれいだと思っている人の割合	↑	市民アンケート調査で「自分の住むまちがきれいだと思いますか。」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の割合。
		<p>動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、15.4ポイント上がり、前年度に比べ、1.9ポイント上がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P36】</p> <p>(Ⅱ) 「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した人の割合は、前年度に比べ増加し、30歳代及び40歳代では60%を越えている。</p> <p>(Ⅲ) 平成21年度(基準値)からの指標値の上昇は、市民一人ひとりの美化意識が向上しているためと考えられる。</p>

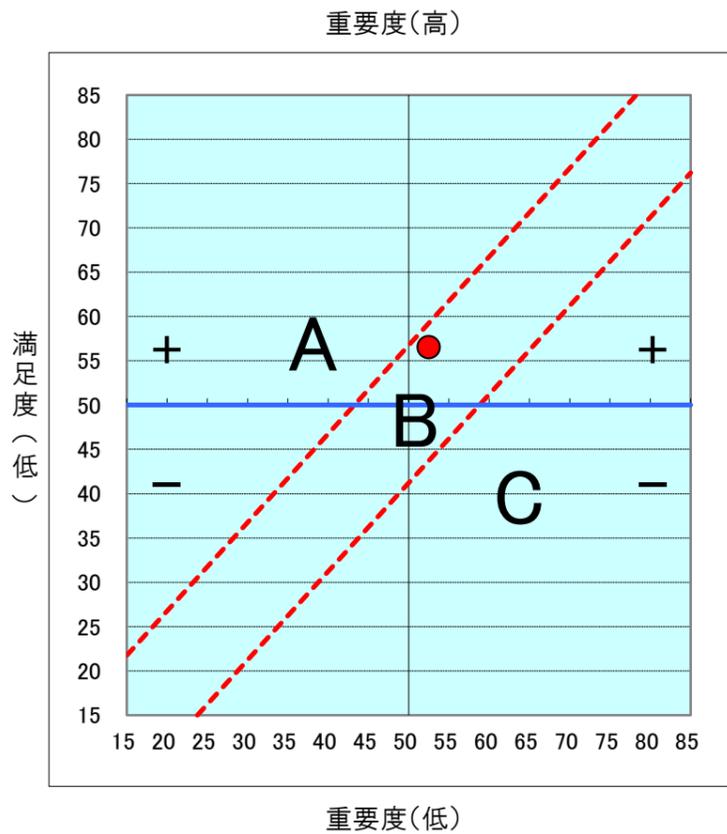
まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
外出先でのゴミを持ち帰っている人の割合	↑	市民アンケート調査で「外出先でのゴミを持ち帰っていますか。」という設問に対して、『いつも持ち帰る』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「外出先で出たゴミを持ち帰っていますか。」
		<p>動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、0.2ポイント下がり、前年度に比べ、1.2ポイント下がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P37】</p> <p>(Ⅱ) 「いつも持ち帰る」「ときどき持ち帰る」と回答した人の割合は92.4%となっている。</p> <p>(Ⅲ) 外出先に設置されているゴミ箱にゴミを捨てるを得ない状況もあることが、目標値に達しない要因の一つと考えられる。</p>

まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
清掃活動に積極的に参加している人の割合		市民アンケート調査で「清掃活動に参加していますか。」という設問に対して、『積極的にしている』と回答した人の割合。
		動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ) (Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、3.7ポイント下がり、前年度に比べ、0.5ポイント下がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P38】 (Ⅱ) 「義務的にしている」と回答した人の割合が49.5%で前年度に比べ1.6ポイント減っている。一方、「していない」と回答した人の割合が31.4%で2.7ポイント増加した。 (Ⅲ) マナー向上によるごみのポイ捨てが減っていることから、清掃活動への参加意欲が薄れていることが要因の一つと考えられる。

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／平成30年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	H30年度決算額(千円)
	環境美化啓発事業	(Ⅰ) 市民一人ひとりの美化意識を高め、美しく快適な生活環境づくりを推進することを目的に実施した。 (Ⅱ) 市内全域から倉敷市地域美化推進員180人を選任した(任期2年)。倉敷市環境衛生協議会と協働して「全市一斉ごみ0キャンペーン」を実施する予定であったが、豪雨災害のため中止となった。犬のふん放置対策「イエローカード作戦」を市内20団体が実施した。環境美化啓発用のポケットティッシュを関連する各事業者に4種類(飼い犬ふん害、ポイ捨て、路上喫煙制限区域、歩きたばこ)合計で約16,000個配布した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,737
	リフレッシュ瀬戸内事業	(Ⅰ) 美しい瀬戸内海を守るため、誰もが参加しやすい海浜の清掃活動を目的に沙美海岸の清掃を実施した。 (Ⅱ) 6月24日に実施し、地元住民を中心に、小・中学校、高校、企業、一般ボランティア等、約1,000人が参加し、1,033kg(燃やせるごみ980kg、資源ごみ・埋立ごみ53kg)のごみを回収した。 (Ⅲ) 「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」(平成3年設立)に参画する本市は、瀬戸内海沿岸の全市町村が加盟する当協議会の中心的活動の一環として、今後も他自治体と連携しながら、継続して実施する。	8
	公園等清掃委託事業	(Ⅰ) 市民の憩いやレクリエーションの場として設置した公園・遊園を常に利用しやすい状態に保つことを第一の目的としている。加えて、高齢者に公園・遊園の清掃作業を委託することにより、高齢者の社会参加促進、余暇の活用、健康の保持、生きがいの発見等高齢者福祉の増進に資することを目的として実施した。 (Ⅱ) 市内にある763カ所の公園・遊園の清掃を地元団体、地域の高齢者やシルバー人材センター等に委託して実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	263,024
	用排水路の清掃委託事業	(Ⅰ) 用水路の清掃を目的として実施した。 (Ⅱ) 市内全地域で農業土木委員を中心とした269の管理組合が、町内会とも連携し、年に1～3回の用排水路の清掃活動を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	111,375
	地域社会ボランティア「アダプト・プログラム」事業	(Ⅰ) 活動地域の美化と、周辺住民の美化意識の向上を目的に実施した。 (Ⅱ) 道路、水路、公園などの公共施設の清掃美化活動を年4回以上行うボランティア団体に対し、ほうき・ゴミ袋などの消耗品の支給やボランティア団体保険加入などで活動を支援した。平成30年度末において42団体1,369人の登録があり、活動人数は増加している。 (Ⅲ) 継続して実施する。	705
	不法投棄防止対策事業	(Ⅰ) 不法投棄物の情報収集、回収及び防止対策を講じることで、環境保全と環境美化を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 市内一円の不法投棄要注意箇所に重点を置き監視パトロールを実施し、年間42,392kgの投棄物を回収した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	59,019

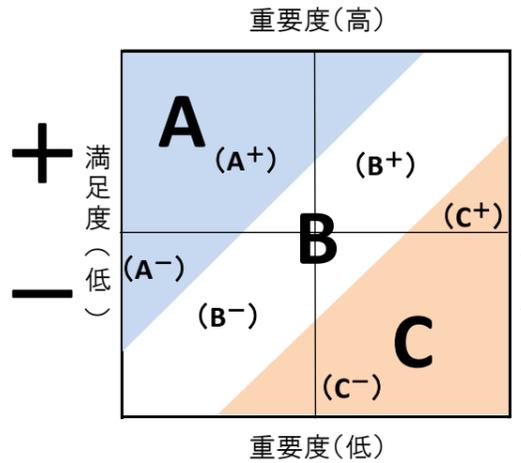
市民の重要度・満足度(R1.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁺	56.50	52.53

●重要度に見合った満足度が得られている(B)
●重要度が平均値より高い(+)

【グラフの見方】



A:重要度に見合った満足度が得られていない領域
 B:重要度に見合った満足度が得られている領域
 C:重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)
 +:重要度が平均値より高い部分
 -:重要度が平均値より低い部分

A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻

A⁺:重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

課題

- 市の広報等による啓発、市環境衛生協議会等を通じた地域環境美化活動の支援を行っているが、ゴミのポイ捨てや路上喫煙、飼い犬ふん害問題など身近な地域の課題が多様化してきており、きめ細やかな対応が求められている。
- 不法投棄は、人目に付かない夜間や早朝に山林道などで不特定の者により小規模に行われることが多く、不法投棄の早期発見、回収及び未然防止などの対応に苦慮している。

今後の取組み方針

- 市環境衛生協議会や市の広報等を通して、地域住民への環境美化活動への参加を呼びかけるとともに、小・中学生を対象とした環境学習等を通じて、より一層の環境美化意識の向上を図っていく。環境美化啓発用看板やポケットティッシュのデザイン・種類を増やすなど、身近な地域の課題解消のための啓発事業を実施していく。
- 投棄されたごみを早期に発見し、速やかに分別・回収することが、二次的な不法投棄の予防に大きな効果を上げる。このため、不法投棄が発生しやすい場所への重点的な巡回、きめ細かいパトロール活動を継続して実施する。また、不法投棄の頻発箇所には監視カメラを設置することにより、不法投棄を事前に防ぐことに努める。